

〔科目名〕 経営演習 I				〔単位数〕 4単位		〔科目区分〕 演習科目	
〔担当者〕 長谷川 美千留						〔授業の方法〕 演習	
〔演習テーマ〕 企業財務を学ぶ							
〔演習内容〕 経営演習 I では、財務に関する基本的な知識を習得することを目的とする。ゼミ生による報告と議論を中心とし、春semesterは財務分析、秋semesterは財務管理を中心に学ぶ。							
〔科目の到達目標〕 財務分析、財務管理の基本的な知識を習得する。 現代企業の財務について考察し、自らの見解を示すことができる。							
〔ディプロマ・ポリシー (DP) との関係〕							
学部				学科			
DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3	
○				○		○	
〔前提条件〕 簿記や会計に関する基礎的な知識があることが望ましい。							
〔学修の課題、評価の方法〕 (テスト、レポート等) 報告 (個人とグループ) と授業内レポート、演習への取組姿勢を総合的に評価する。							
〔教科書等〕 春) 桜井久勝 (2024) 『財務諸表分析 第 9 版』中央経済社 秋) 鳥居陽介編 現代財務管理論研究会 (2022) 『テキスト財務管理論 第 6 版』中央経済社							
〔実務経歴〕 なし							
授業スケジュール							
時期	テーマと内容						
4 月から 5 月	演習の進め方や自己紹介、報告の割り当て等、 財務諸表の役割と仕組み (報告)、財務諸表の入手 (報告)、 貸借対照表の見方 (報告)、損益計算書の見方 (報告)、キャッシュ・フロー計算書 (報告) 分析の視点と方法 (報告)						
6 月から 7 月	収益性の分析 (報告)、生産性の分析 (報告)、安全性の分析 (報告)、成長性の分析 (報告) グループ・ワーク (グループごとに実際の企業の財務分析)、授業内レポート						
9 月から 10 月	会計情報の有用性を考える (輪読) 株主価値経営 (報告)、機関投資家 (報告)、コーポレート・ガバナンス (報告)						
11 月 から 12 月	持株会社制度の導入 (報告)、証券市場 (報告)、新資本概念と新しい経済システムの台頭 (輪読)、 企業・機関投資家の変化 (輪読)、ディスクロージャーと財務分析 (報告)、利益管理と EVA (報告) リスク・マネジメント (報告)、資金調達 (報告)、銀行業の発展と今日的課題 (報告)						
1 月	ESG 投資・SDGs と企業財務 (報告)、グループ・ワーク、授業内レポート						